

ハートフルかみす

あうんの呼吸で 仏像修復師



あうんの呼吸で…………… P2・3
多様性と機能性を兼ね備えた新制服… P4・5
秋の行事 七五三で歴史にふれる…………… P6
神栖市男女共同参画人材バンク
登録者募集!! …………… P7
ピーマンタイム …………… P8



みんなで考えた新制服



男女
共同
参画

「ハートフルかみす」は、市民の編集委員によって作成される男女共同参画社会を目指すための情報誌です。

あうんの呼吸で

皆さんは、仏像修復師という仕事を知っていますか。

仏像は長い年月を経ることで、劣化やねずみ・虫食いの被害、部材の欠損などが生じ、元の姿に復元する作業が必要になります。貴重な文化財である仏像を後世に残すために修復をする人を、仏像修復師といいます。全国に100人程度しかいない仏像修復師として神栖市内に工房を持ち、活動されている伊谷勇哉さんと青野真澄さん夫婦にお話を伺いました。



伊谷さん



青野さん

修復師を志すきっかけ

伊谷さんは、父親が仏師のかたわら仏像の修復をしていたことがきっかけで、仏像の制作や修復に興味を持ち、東京の大学の文化財修復学科で学びました。小さい頃から父親の背中を見ていたこともあり、自然とこの道に進みました。

美術に興味があった青野さんは、彫刻を勉強するため大学に進学しました。在学中に古美術研究旅行で行った

奈良の室生寺の菩薩像に心惹かれ、文化財の勉強をしたいたと大学院に進みました。卒業制作の模刻では、心を惹かれた室生寺の菩薩像を一年かけて一本の木から彫り上げました。

まだ将来の仕事にするとは考えていませんでしたが、学んできたことを生かすため、大学院2年時に仏像修復の会社を立ち上げました。しかし、卒業を迎える3月になっても、仕事の依頼がまったくなかったため、チラシを作り茨城県内のお寺を回りました。初めて依頼を受けて修復作業をした、行方市にある常光院の不動明王立像は、特に思い入れの強いものになりました。



修復後 修復前
行方市 常光院の不動明王立像(江戸時代)

作業内容

伊谷さんは主に、仏像の解体や、失

われた部分を新しく制作したり、組み上げる作業をします。

青野さんは、フリーニングや、塗膜が剥がれているところに注射器で接着成分の膠を流し込み、浮いていたものを付け直す剥落止めの作業をします。新しく作った部分を古めかしくなじませたりする作業もあります。二人ともこれらの作業を行いますが、それぞれが得意な分野を受け持ち作業を進めます。

色合わせや仕上げに関わるのが多い青野さんは、仕上げ前の伊谷さんの仕事に、納得のいかないことがあります。接着面に段差があったり、形が違ったりすると、色付けの際に違和感が残ってしまうので、「中途半端な形で渡さないでほしい」とげんかになることもあるそうです。

思ったことを言い合えるお二人は素敵だと感じました。



伊谷さん作業風景

苦労するところ

「修復金額の見積もりが難しいです。契約後に仏像を解体して虫食いを発見し、その修復分を含め計算し直してみると、当初の見積金額では赤字になってしまふことがしばしばありました。反省し、何度も擦り合わせをすることで、適正な金額を見積もることができるようになりましたが、やはり修復金額を見積もる時が一番苦勞します。適正な見積額を提示し契約ができるように努力しています。」

仕事上は夫婦別姓

結婚前から彫刻家として活動している青野さんは、修復をするだけでなく、彫刻について大学で教えているので、結婚後も旧姓を使用する方が都合の良いことがあります。現在、結婚後の夫婦は、どちらかの姓を名乗らなけ



青野さん作業風景

ればなりませんが、仕事上のやりとりを分かりやすくするために、夫婦別姓で仕事をしています。

修復師の男女の違い

搬入などの力を使う仕事は男性の方が優位ですが、仏像修復作業については男女の違いはありません。

青野さんは、子どもを授かり、出産一週間前まで仕事をしていました。役職が理事のため、育児休暇が適用されないことを初めて知り、育児休暇を取得することができませんでした。大学の非常勤講師にも育児休暇は適用されず、産後休暇明けにはすぐに復帰したそうです。



子育てをしながら仕事をしている様子

お互いを理解しながら取り組んでいきます。

修復師としての思い

「日本人は、年を重ねると、日本の文化や仏像に興味を持つ方が増えますが、若い方にも興味を持ってもらい、修復という仕事があるということを知ってもらいたい。そして少しでも多くの方に修復の道に進んでもらい、貴重な文化財を守ってほしいと思っています」と話してくれた青野さん。

また、「最近では仏像を修復する材料や道具を調達する場所が減少しています。漆を掻く(樹液の採取)、のみを作るなど、日本の伝統的な仕事に携わる職人が少なくなってきたおり、後継者がいないために店を畳まざるを得ない現状があります。業界全体が縮小傾向にあるので、仏像修復だけでなく修復に関わるすべてのことに興味を持ってもらいたい」と考えているそうです。

「学生たちには、学んだことを生かし、手に職をつけて自分の道を開いていってほしいと伝えています。就職に限らず、自信を持って自分ができることを見つけられるよう願っています」

修復師になるには時間もお金もかなり大変ですが、男女関係なく、一生続けていける仕事でもあります。仏像修復に興味があれば、修復師という選択肢

もあることを知ってほしい、というお二人の思いが伝わってきました。

将来の目標

この仕事をずっと続けていきたい青野さん。「この地域の仏像や文化財を見て回り、修復する必要があるものは修復して活用することで、そこに人の流れを作りたい。神栖市のお寺や仏像にもいいものがあると思うので、それらを文化財に認定してもらうような活動ができたらいいなと考えています」。

伊谷さんは、「御朱印や仏像、神社巡りなどもそうですが、地域が活性化するために、仏像修復もひとつのきっかけになれるように貢献できたらよいと考えています。また、神栖地域の仏像修復をしたことがないので、この地域の仕事もしてみたいです」と語ってくれました。

次世代へつなぐ

大学の非常勤講師でもある青野さんは、授業の古美術研究旅行で奈良や京都に行くことがあります。学生たちに、仏像の解説や技巧、作者にまつわる話をしたり、奈良の文化村で行われている仏像や掛け軸の修復作業を見せたりしています。

また、個人的に見学に来た方に仏像修復について話することも。

「中学・高校生などの若い方とはなかなか接する機会がないので、その方たちに仏像修復の大切さを伝え、興味を持ってもらえたらうれしいです。今後このような活動に、力を注いでいきます」



伊谷さん 青野さん
インタビュー風景

二体の仁王像のように、あうんの呼吸で寄り添いながらインタビューに答えるお二人の仲睦まじい姿が印象的で、文化財に対する考えや地域活性化についても真剣に取り組む姿勢に、多くのことを学ばせていただきました。仏像修復の技術は歴史とともに進化し続けています。これからも伝統を守りながら、美しい仏像を未来に伝えてもらいたいと思います。

お二人がますますご活躍されますよう応援しております。

多様性と機能性を兼ね備えた新制服

生徒たちで考えたスタイル

神栖市立神栖第二中学校は、本年度から市内他中学校に先駆けて新制服を採用しました。

多様性・機能性に配慮した新しい制服が決まるまでの経緯や、新制服採用に伴う校則づくりについて、生徒会役員の皆さんにお話を伺いました。



新制服に身を包み、ポーズを決める生徒会役員の皆さん

制服を新しくしようとしたきっかけ

令和四年に創立七十五周年を迎えたことを機に、制服を新しくすることに決め、「制服・ジャージ検討委員会」を設置しました。メンバーは生徒、先生、保護者、地域の方々で構成され、神栖第二中学校の飛躍へ向けて、伝統や地域の特色を生かせる制服へ変更することにしました。

ジャージは、素材の不足により納入が不安定だったため、速乾性・ストレッチ性に優れた新しい素材に変更し、デザインも新しく変更しました。



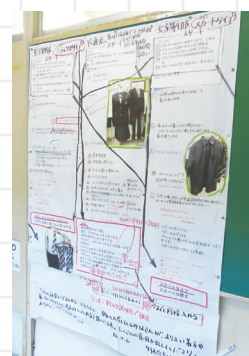
新制服

新制服検討内容

- 創立以来変更していない制服の素材や機能性の改善
- 気候変動への対応、防寒対策、犯罪被害の予防
- 社会の動きやジェンダー平等への対応
- スカート巻き込み防止など自転車通学の安全性向上

ルールづくり

新制服の採用にあたり、校則の見直しが必要になり、今年度



話し合いの結果を模造紙にまとめ、廊下に掲示

新体制になった生徒会役員は、制服についてのルールづくりに取り組みました。制服に関するさまざまな疑問や問題について、何度も話し合いましたが、特にポロシャツに関するルールづくりが大変でした。

①ワイシャツはスラックスやスカートに入れるが、ポロシャツはどうする？

ポロシャツもスラックスなどに入れることに決定

②ポロシャツにはリボンとネクタイをつけないが、ワイシャツにはつけないとダメ？

ワイシャツにはリボンとネクタイをつけることに決定

③ブレザーの下ボタンは外す？ 外さない？

ボタンは外さない方がデザインとしては良い

多様性と公平性

多様性への配慮をするなら、制服ではなく私服に変更してもよいのではないか？という意見も出ましたが、高校入試の際などには服装に悩まなくてよいことや、家庭によって事情も異なるので、制服に統一することになりました。



好きな組み合わせの制服を自由に選択

以前は、スラックスをはきたい女子生徒は、学ランを着て登校していましたが、新制服は、スカートやスラックス、リボンやネクタイなど、自由に選ぶことができます。

実際に、スラックスやネクタイを着用している女子生徒もいるそうです。性別に関わらず自由に制服を選べるのが新制服の魅力です。

アピールポイントをプレゼン

前年度末には、同校に入学予定の息栖・深芝小学校の六年生を体育館に招き、生徒会役員が新制服を着て、説明しました。

- ブレザーは防水機能があり、汚れが落ちやすく、洗濯機で丸洗い可能
- 伸縮性があり動きやすい
- ネクタイやリボンが完成しているので装着が楽



◀取材中にも新制服を着て見せてくれました

生徒や地域の皆さんの声

令和六年度入学生から着用が始まった新制服は、「デザインがいい!」「かつこいい!」など、とても好評です。二・三年生からは「自分たちも着たかった」という声もありました。

二・三年生も新制服を着ることは可能ですが、「新しく買い替えるには費用がかかる」「まだ着られるのにもったいない」「着る期間もあと少しだから」などの理由から、今のところ新制服を着ている生徒はいません。

生徒会役員の皆さんの感想

「新制服の決定に携わり、とても楽しかった」「面白かった」「大変だったけどやりがいを感じた」という声がありました。

また、「活動の中で、度々問題点が見つかり、その都度、先生方とも話し合いましたが、簡単に結論が出ず苦労した」「伝統のある制服を終わらせて、新制服に変更するって勇気のいること」と話す生徒もいました。

何かを変えようというのは、本当に勇気のあることです。そこに挑戦し成し遂げたこと、その達成感はこのからの自信やかけがえない思い出となるでしょう。

生徒会担当 山口先生から

制服は生徒が着るものなので、なるべく生徒たちの意見を採用しました。生徒会が一生涯取り組んでくれて、本当に良い制服になりました。生徒会役員の皆さんに感謝しています。

教頭 大輪先生から

私も中学生の時、生徒会長として校則を変えようと試みましたが、実現できませんでした。今、みんなが頑張っている姿を見ると、自分自身もうれしくなります。これからも生徒会役員としてぜひ学校を引っ張っていきましょう!

今回の取材では、現生徒会役員の皆さんにお話を伺いましたが、令和四年度後期生徒会からスタートし、完成するまでには、たくさんの先輩方の取り組みとご苦労があったことが分かりました。

馴染みのある制服が終わる寂しさもあると思いますが、ブレザーのボタンには校章が、胸ポケットには、生徒たちからデザインを募集選ばれたエンブレムがあり、関わった方々の制服に込めた思いが伝わってきました。

今後の神栖市内における中学校の制服の変更にについては、既に数校で検討が始まっているようです。制服が生徒たちにとってより良いスタイルに変わり、快適に学校生活を楽しめることを願っています。



ボタン



エンブレム

読者の声

最近地震が多いので、改めて防災用品の見直しが必要だと感じました。「自助」という土台がある上で、母親として、市民として「共助」や「協働」も心掛けたいです。

秋の行事 七五三で歴史にふれる

十一月、神社へお詣りに行くと、晴れ着を着た七五三詣りの親子連れを目にします。着物姿はもちろん、アニメの主人公のようなきらきらとおしゃれをした子どもたちも見られ、つい顔がほころびます。

七五三とは日本の伝統的な行事の一つですが、起源は古く、平安時代にさかのぼるといわれています。現代のように医療が発達していなかったため、子どもの死亡率が高く、「七歳までは神のうち(神の子)」といわれ、七歳まで無事に成長すれば、社会の一員として認められたそうです。三歳・五歳・七歳の節目に、無事に成長できたことを神様に感謝し、お祝いをしたことが七五三の由来といわれています。江戸時代に入ってから、武家や商人の間にも広がり、現代につながる七五三の原型となったようです。



七五三のルーツ

●三歳・髪置の儀

平安時代、子どもは生後七日目に、男女共に髪を剃り、三歳頃までは坊主頭で育てられたそうです。頭を清潔に保つことで病気の予防になり、のちには健康な髪が生えてくると信じられていました。髪を伸ばし始める三歳を迎える頃に行なったのが、髪置の儀で、健康や長寿を願ったとされています。

●五歳・袴着の儀

五〜七歳頃に、正装である袴を初めて身に着ける儀式です。別名「着袴の儀」ともいいます。儀式を経て男子は少年の仲間入りをし、羽織袴を身に着けるようになります。

もとは男女共に行っていたものが、江戸時代に男子のみの儀式に変わりました。男性が家督を継ぐという武家社会が影響しているようです。

また、天下を取る、出世するなどの願いを込めて碁盤を使った風習や、初めて袴をはかせるときに、出世を願い縁起のよい左足から入れるという風習が現在でも残っています。

●七歳・帯解の儀

紐が付いた子どもの着物から、大人の帯を締めて着物を着る節目の儀式です。室町時代には男女ともに九歳頃に行なわれていましたが、江戸時代、五歳男児の袴着の儀が定着するころに、七歳女児が行なう儀式となりました。神栖でも、たまに「おびどき」という言葉を聞くことがあります。結婚式の披露宴のように、来賓を招き盛大に実施する「おびどき」の様子に筆者は驚いたものです。

日本の衣服とジェンダー

衣服は、歴史とともに変化しています。現代の和装で格式の高いものといえば、男性では五つ紋の付いた黒紋付羽織袴、女性も同じく五つ紋の付いた黒留袖になります。現在では誰でも付けることができる家紋ですが、女性がか紋を使用できるようになったのは江戸時代中期頃といわれています。

また、江戸時代は、衣服で身分秩序を識別しており、宮中の女官以外の女性たちは、袴を身に着けることが禁じられていました。女性の袴スタイルが



復活するのは明治になってからです。明治初期に女学校が設立され、女学生たちに袴の着用が認められました。明治、大正時代には活動的でジェンダーレスな袴は大流行します。最近の卒業式でも袴は人気です。漫画やアニメの影響ともいわれますが、実は、袴は「日本で最初の女学生の制服」でもありました。現代では制服も、環境に配慮した素材や、ジェンダーレスに向けたあり方など、今の時代に合わせ、生活しやすいものへと変化しています。そのような時代ですが、古来から続いてきた子どもの健やかな成長を祈る七五三は、日本の文化としてこれからも残っていてほしいと思います。(本内容については諸説あり)

神栖市男女共同参画人材バンク 登録者募集!!

提出・問合先＝市民協働課(本庁2階) 〒314-0192 神栖市溝口4991-5
Tel.0299-90-1171 ✉kyodo@city.kamisu.ibaraki.jp

市では、政策・方針決定の場である各種審議会などへの参画を促進し、多様な意見を市政に反映できるように、男女共同参画人材バンクを設置しました。

男女共同参画社会の実現に向けて、あなたの知識や経験を市政に生かしてみませんか。

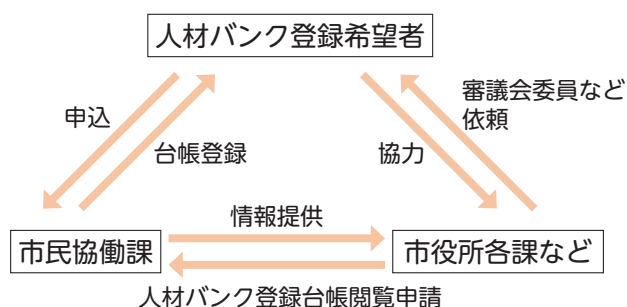
登録対象者＝次の要件を満たす方

- ①市政に高い関心と審議会などの委員として活動する意欲を有する
- ②市内在住または在勤で満18歳以上(高校生は除く)
- ③男女共同参画、環境、福祉、教育、その他各種分野において専門的技術、資格、実績などを有する

登録方法＝所定の登録申込書に必要事項を記入し、郵送、メールまたは持参で提出してください

※登録申込書は市民協働課または市ホームページから入手できます
※登録された方が必ず委員などに選任されるものではありませんので、あらかじめご了承ください
※登録申し込みは随時受け付けます

男女共同参画人材バンクイメージ図



令和6年度 男女共同参画週間

6月23日～29日

「だれもがどれも選べる社会に」

市では、内閣府で実施している男女共同参画週間に合わせて、神栖市役所と神栖市立中央図書館で啓発ポスターの掲示や、関連図書の展示・貸出を行ないました。期間中はたくさんの方々にご覧いただきました。

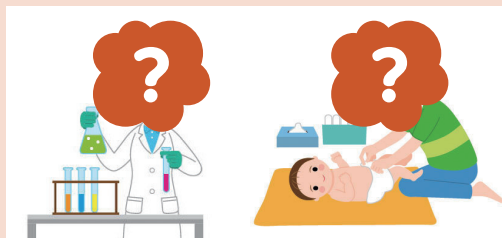


中央図書館での展示、関連図書特設コーナーの様子

特設コーナーは終了しましたが、関連図書は中央図書館で借りることができます。興味のある方は、ぜひお立ち寄りください。

男女共同参画キーワード

どんな人を想像するかな？



研究者は「男性」、赤ちゃんのお世話をするのは「女性」と無意識に考えていませんか？このような思い込みを、**アンコンシャス・バイアス**(無意識の思い込み)と言います。

性別に関係なく、だれもが「自分らしく」生きられる社会にしていきたいと思います。

読者の声

「未来につなぐ一歩」での看護師さんの姿や、「デジタルフォトコンテスト」の子どもたちに癒やされました。

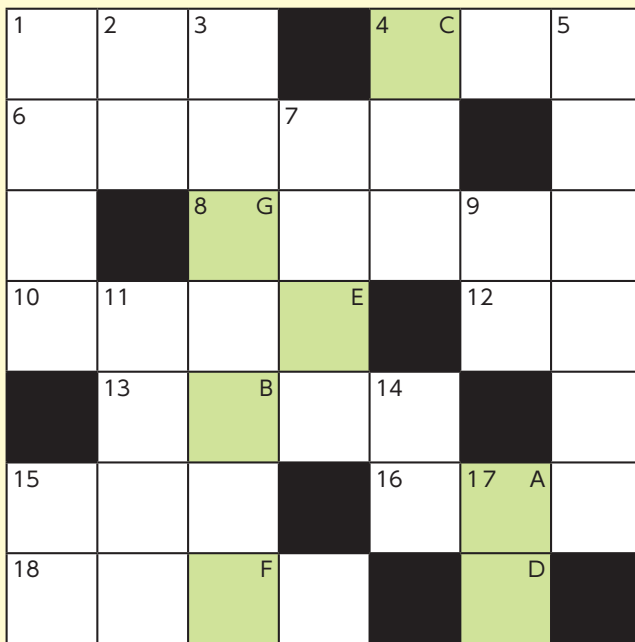


ちょこっと休憩!

ピーマンタイム



クロスワード



ヨコのヒント

- 1 日本にもこの遺産がたくさんあります。
- 4 じゃんけんのグーはこうとも言います。
- 6 男性の取得率も年々上昇しています。
- 8 「ーウォーキング」「ー花」「ーポンプ」
- 10 山形県長井市のお祭り。水の神様でもある。
- 12 公共の団体などに金銭や物品を贈ること。
- 13 優れた点がなく、平凡なこと。
- 15 ふち。へり。端。「一の効いたデザイン」
- 16 靴下のような衣類を身に着けていない状態。
- 18 人里近くにある、生活に結びついた山や森林。

タテのヒント

- 1 神栖第二中学校の生徒会が主体となって変えたものは?
- 2 将棋の駒。飛車とともに大駒のひとつ。
- 3 神栖市にある神社で東国三社のひとつ。
- 4 坂本龍馬で有名な土佐藩の現在の県名。
- 5 日本に100人程度しかいない「仏像」
- 7 誇るべき歴史やたどった過程があること。「正しい家柄」
- 9 大気中の水蒸気から生成される氷の結晶。
- 11 料理を運んでくるものもあります。
- 14 餅つきで使う木製の道具。
- 15 動物を飼育したり、誘い寄せたりするための食物。
- 17 カナダのプリンス・エドワード島が舞台。「赤毛のー」



答え

A	B	C	D	E	F	G

ヒント：無意識の思い込みのこと

たくさん
応募してね!

★正解者全員にオリジナルボールペンをプレゼント★

引換方法＝任意の用紙に ①答え ②ハートフルかみすの感想や意見
③氏名 ④連絡先を記入し、市民協働課(本庁舎2階)へ持参
引換期間＝11月29日(金)まで



©神栖市

編集委員

●安藤委員

●柴田委員

●伊藤委員

●遠藤委員

